

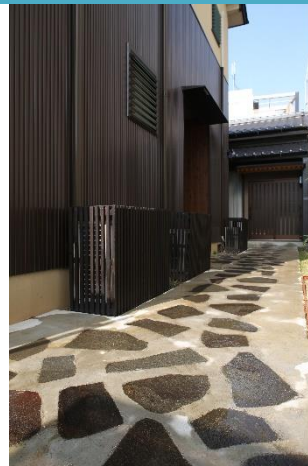
S邸



街中の店舗兼住宅を住宅に建替えました。施主さんからの要望は駐車場を設け一番奥にある平屋を残してほしいという話でした。奥の平屋を見せてもらうと床の間の材料はすべてケヤキ、天井板も本物の和室2間でした。そこで、奥の平屋を残し、道路面に車三台分の駐車スペースと駐輪場、奥の平屋にも後から行けるように、通路を設けました。ただ、奥の平屋の1坪の玄関が飛び出ているので、これだけは解体することをお願いしました。工事前にその玄関を解体していた大工から「玄関の天井が杉板2枚できている。」と電話がありました。一坪の天井なので、幅80cm×長さ170cmの大きさの板が二枚だけで張ってあることとなります。傷を付けないように外すように指示しその杉板はLDKの戸にしました。

アプローチ、玄関ポーチ

奥の平屋に向かう通路を設けたため、玄関の入り口はその通路に配置しました。土間に鉄平石を貼ったのは、解体する前にも通路があって鉄平石が同じように貼られていたからです。突き当たりが残した平屋の玄関です。



玄関ポーチは通路から90cmほど引っ込めて両側は杉板を張りました。

LDK

桧の腰板のリビング、天井はロックウール吸音板。

入り口の戸は平屋の家から外した天井板です。せっかくの杉の木目をなるべく失わないように4つの小窓を菱形に配置しました。



外した天井板を利用した引戸



書斎

自営業をされているので書斎を設けました。L 型カウンター、吊戸棚、可動棚、書類入れボックスなどを設け、コンセントなどもカウンター上に配置しました。



寝室

よく眠れるように桧の腰板を張りました。



トイレ、洗面、浴室



収納

納戸を設けるスペースがないので廊下に幅 2.7メートル高さ 2.2メートルの収納を設けました。戸の高さも 2.2メートル、三本引きにしたので出し入れが楽な大開口の収納になりました。



巾 2.7mx 高さ 2.2m の収納



その他収納



納戸、収納

納戸はコの字に二段

収納は要望に応じて整理棚などを配置

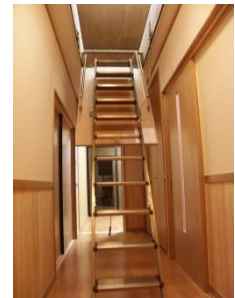


書斎、納戸、 屋根裏収納

書斎、の背面には中央に TV を置ける大きい壁面書棚を作りました。

納戸は6帖+タタミ畳の押入れも付けました。

廊下の天井のはしごを下すと8畳の屋根裏収納スペースがあります。



納戸

天井裏に収納した橋が尾を下したところ、この上に畳の部屋があります。

書斎

